

富山県発明とくふう展内容説明書 (審査・展示用)

(第52回)

(1) 企業の部	(2) 一般の部	受付番号 (般) 3		
ふりがな	はーく ごるふ、 みみつ ほーる かくふ、 ふた			
作品の名称	パーク・ゴルフの耳付きホール・カップ蓋			
ふりがな		ひ だ まさる		
会社名	個人	発明者名 飛弾勝		
特許・実用・意匠の出願状況	□未出願 □出願済み	出願・公開番号 2013-026608 第1498462号	登録番号	外国特許他

特徴と要点 (必ずご記入下さい)

- (1) パーク・ゴルフは、1ホールのグリーン上に3~4個前後のホール・カップが有り、それらを、大会又は芝の保護条件によって絶えず交代で使用するのがパーク・ゴルフ特有としたもので、しかし、ボールのぶつかりや足で踏まれたりしてホールの周囲が大きく成り、**カップ蓋が落ち込み**、大会事にホールの掘り直し、また修正するにも多大な労費が必要だった。
 - (2) プレーで落ち込んだホール・カップ蓋上を通るパット球が大きく弾かれ、失速し、また、その蓋上に止まった球を打ってもホール壁に弾かれてプレーに**大きく悪影響**した。
 - (3) 他のパーク・ゴルフ場では、ホール・カップ蓋の下に台やパッキン等してカップ蓋を持ち上げていますが、芝刈りの際に数多くのカップ蓋の取り外しと後の設置に**大変な時間**がかかり、また、カップ蓋の設置状態での草刈では、草刈り機の重みで片方が浮いて持ち上がり、**草刈り機の刃や蓋が損傷**した。
- * 上記の**難点**を**耳付きカップ蓋**、また、**平耳付きカップ蓋**の使用によって**解決**し、右図説明書欄にて御説明致しました。

略図、図面、写真等で、簡単に特徴を記入して下さい。

(1) 耳付きカップ蓋の全体図

(意匠登録第1498462号)



(2) 平耳付きカップ蓋の全体図

(意匠登録第1508706号)



(イ) 従来のカップ蓋の落ち込み状態を示す参考図



(ロ) 耳付きカップ蓋の使用状態図



(ハ) 平耳付きカップ蓋の使用状態図



* 45ホールで約90個を使用された北陸最大の黒部市おおしまパーク・ゴルフ場風景



* 耳付きカップ蓋、及び、平耳付きカップ蓋の使用によって芝とカップ蓋の高さが同じ故、カップ蓋上を通る球が弾かなく正確なプレーが出来るようになった。しかも、蓋上に球が止まても正確に打てるように成了った。

* また、カップ蓋の複数の端々に耳を設けてある為に、芝刈り機の重みによって梃子による蓋の片方の持ち上がりが無くなり、芝刈りの際の機の刃が蓋に触れなくなった。

* さらに、蓋の耳及び平耳の下への曲がりによって、山や強い斜面に設けたホールカップであっても芝刈り機の刃が蓋や耳に触れず、刈り機の刃の破損及びカップ蓋の破損も無く何の損害も無くなつた、しかも芝刈り作業も大幅に短縮された。